

地域とともにある昭和小学校

～地域・保護者の皆様 ご支援・ご協力ありがとうございます～



昭和小 第4号

校長室便り
文責
生田 文明

ようこそ先輩

十一日（木）、昭和校区の八代市消防団第二十七分団の方々（十九名）を講師としてお迎えし、全校児童へ集団行動や放水の指導をしていただきました。

集団行動では、はじめに、消防団の皆さんに号令のかけ方や集合および横一列の並び方等を披露していただきました。それをもとに、子どもたちは、班ごとに分かれ、団員の方々から直接集団行動の指導を受けました。最初は、号令の声は小さく、たどたどしく、集合の仕方や並び方もうまくそろわず、もたもたしていました。しかし、十五分ほどの練習後は、見えるほど上手になり、最後の班ごとの発表会では、きびきびした団体行動ができるようになりました。

今回習ったことを運動会や集会、避難訓練等で生かして生きたいと思えます。また、火災消火の際に実際



行う放水を体験させていただきました。団員の皆さんに支えていただいていたとはいえ、水圧の力に驚いていたようです。

地域の方々の命や財産を守るために、訓練される姿を見ることで、あこがれを抱く子どもたち。地域を守り、地域の誇りである消防団。将来の自分の姿に重ねることもできたようです。

放水訓練後は、プール掃除もしていただきました。これからも母校である昭和小学校をよろしくお願ひします。

松の芽摘み・校区清掃

十四日（日）は、PTA奉仕作業として、松の芽摘み、校庭の草取り、生け垣の剪定、学校周辺の清掃活動（ゴミ拾い、草取り）を児童・保護者・教職員七十九名で行いました。

午前六時に開始し、約二時間程度で、学校および学校周辺が見違えるほどきれいになりました。校内に四十六本ある松の木。剪定を受け、すっきりと美しい姿に戻りました。また校内だけでなく、学校周辺もきれいになり、運動会に向けての環境整備もできました。ありがとうございます。地域の宝である昭和小学校。これからも、保護者の皆様の協力を得て、児童・教職員で環境美化にも力を入れていきたいと思ひます。



もみ蒔き・苗代作り



十五日（月）、四・五年生は、午後から地域のJA青壮年部十三名の皆さんと大杉環境整備委員長さんの指導を受け、十二月の餅つき用の餅米の粃を苗床に蒔き、苗代づくりを行いました。

田植機用の苗床ポットにコップ一杯分の粃を重ならないように丁寧に蒔き、敷き詰めていきました。一人で二ポットを担当して蒔き、約二十分程度で、蒔き終わりました。今回使用した餅米の粃は、発芽しやすいように、事前に四日ほど水につけ給水させたものであることも教わりました。今、五年生は、理科の学習で「植物の発芽の条件（空気・水・適当な温度）」を学習しているところです。自分たちが学習していることが、生活、農業に生かされている事を体験することができたようです。

今、四・五年生で、JA青壮年部の方から教わったことをもとに苗床の管理をし、六月十六日の田植えに向け、水やりを行っているところです。

十九日には芽が出始め、一面緑の絨毯のようになります。これからの成長がとても楽しみです。

おいしい餅となるように、これから半年お世話していきます。